

令和3年度事業計画

当法人は、日本の鉄の歴史文化の研究及び公開に関する事業、並びにこれらに関する地域振興に関する事業を行うことにより、日本の伝統文化の継承と創造に役立つ人材を育成し、地域社会の文化的、経済的振興を図るため、令和3年度は次の事業を行う。

公益目的事業 たたら製鉄の歴史と技術を保存、公開、実践することで日本の鉄文化を保護継承していく活動

1) 講演会

①鉄の歴史村フォーラム 2021

テーマ：「菅谷たたら山内総合文化調査報告会2」

継続する菅谷たたら山内総合文化調査の報告会の第二弾として、調査研究のオンライン報告会として実施する。

場所：未定

日時：9月または10月

方法：オンライン

講師：当該調査者から2～3名

②博物館講座「いいね！TATARA部」

たたら文化に関する市・県民協働の取り組みのみならず、市に隣接する文化施設関係者や自治体とともに研究会、座談会などを実施し、接続性のある事業活動を目指す。

令和3年度において、引き続き文化庁の文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の採択を受けた際には、インターンシップ生を募り、たたら文化を活用した地域課題解決の議論・検討を進めたい。

広報、活動内容の公開は、フェイスブック、ホームページを活用する。

2) 体験事業

①近代たたら操業

令和3年度より指定管理施設「和鋼たたら体験交流施設」を使用し、たたら操業体験希望者を受け入れ、近代たたら操業を実施する。観光振興の側面から、見学者も積極的に受け入れるとともに、事業の発信にも努める。

第1回 5月29日～30日（榊田部）

第2回 7月24日～25日（日本鍛冶学会）

第3回 10月ごろ（榊田部）

②小たたら操業

近代たたら操業同様、「和鋼たたら体験交流施設」を活用し、手軽に体験できるプログラムとして「永田式たたら」を取り入れ、年3回の実施を目指す。1泊2日または2泊3日のツアー企画を立て、地域の観光事業者とともに実施したい。

③ペーパーナイフづくり体験

たたら鍛冶工房においてペーパーナイフづくり体験を通年で実施する。

所要時間：30分

内 容：五寸釘を材料としたペーパーナイフ製作体験

申し込み：要予約（1日2組4名）

料 金：2,000円

④和鋼小刀づくり体験

たたら鍛冶工房において、休止していた和鋼小刀づくり体験の年度内再開を目指す。

所要時間：4時間

内 容：切出し型（削り出し・やすりがけ・土置き・乾燥・焼入れ、研ぎ）

申し込み：要予約（1日4名）

料 金：32,000円

⑤うんなんこども冒険団（菅谷たたら山内に生息するオオサンショウウオの保護活動）

これまでの取り組みが接続性のある事業となり、参加者は、日本オオサンショウウオの会、奥出雲町、安来市、米子市、日南町まで広がった。菅谷たたら山内とその周辺は日本古来の生態系が保たれ、島根県自然保護区域に該当する環境である。市民と関係各所で引き続き生息調査と繁殖確認を実施し、観察会をおこなう。来館者への啓発活動もパンフレットを通じて実施する。

⑥体感イベント（※新型コロナウイルスの感染拡大の推移をみて判断）

3) 公開展示施設の運営

下記指定管理施設において、以下の事業を行う。

令和2年10月に雲南市が所有する、「菅谷たたら山内及び周辺施設」「吉田町郷土資料館（鉄の歴史博物館）」の指定管理業務の申請を行い、令和2年12月議会での決議を経て、引き続き令和3年4月1日から令和6年3月31日まで当事業団が以下の施設を管理する。

なお、鉄の未来科学館は令和3年3月31日をもって閉館、地域特産品処理加工施設は吉田総合センターが管理される。

また、令和2年1月25日、「雲南市たたら体験交流施設（和鋼生産研究開発施設）」の指定管理申請を行い、令和3年4月1日より管理運営業務を行う予定。

和鋼生産研究開発施設は、令和3年3月1日付で雲南市に所有権を移転するための手続き中。

①菅谷たたら山内および周辺施設

菅谷たたら山内元小屋の活用

②吉田町郷土資料館（鉄の歴史博物館）

ア) 企画展の実施

オンライン企画を中心に計画

イ) おうちミュージアム事業

ウ) 創作館の活用

※共通

所蔵品のリスト化、冬の防災訓練、草刈りの定期化

③和鋼たたら体験交流施設

令和2年度末に和鋼生産研究開発施設を雲南市に無償譲渡した。令和3年度より雲南市の「和鋼たたら体験交流施設」となり、当事業団が指定管理者として管理運営を行う。当施設での事業運営は、上記2)体験事業のとおり。

4) 調査研究・資料収集

①菅谷たたら山内とその周辺におけるたたら製鉄の比較研究

令和3年度は「菅谷たたら山内総合文化調査」の付加的調査を主目的とし、菅谷たたら山内周辺または他地方に現存する史資料に焦点を当て、たたら製鉄と医療、町衆、儀礼、他の鉄師との関係性を調査する。

年度末には本調査の成果として報告書を発行する。

②鉄の歴史博物館の展示替え

公開展示施設での企画展、おうちミュージアム事業とともに、調査研究体制を整え、館の展示替えを行うとともに、あらためて収蔵品の調査、目録の再作成を行う。

③歴史文化活動に関する助成金申請

調査研究、資料収集に必要な事業費を見込む場合、助成金の申請を行う。

収益事業 博物館等公開展示施設における商品の販売

1) 鋳、半製品の販売

・鋳、鋼材などの販売を検討

2) オリジナル商品の開発、販売

・和鋼小刀

・鋳ボトル、ポストカードなどの販売

3) 委託商品販売

- ・ 交流のある刃物産地の商品及び関連書籍の委託販売
- ・ 町内特産品の販売
- ・ 関連書籍の販売
- ・ 委託商品の開拓

管理部門

1) 賛助会員の確保と普及活動

当事業団の目的と事業を理解していただき、賛同する会員を募集する。会費は公益目的事業50%、管理部門50%とする。

① 会員募集 - 個人会員（年会費一口5,000円）、団体会員（年会費一口30,000円）

- ・ 賛助会員の案内用紙の改定作業
- ・ ホームページや Facebook の活用
(令和3年年2月末時点で個人107名、団体7団体)

② 賛助会誌発行 - 賛助会誌紙の発行

2) 情報発信

- ① 令和2年度末にリニューアルするホームページの活用
- ② フェイスブックの活用
- ③ 新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた発信
多言語パンフレットの活用
多言語ワンストップホームページの活用と財団ホームページとの連動

3) 理事会の開催

- ・ 開催時期：令和3年6月および令和4年3月
そのほか必要な場合に随時臨時理事会を開催
- ・ 主な決議事項：令和2年度事業報告及び収支決算の承認
令和4年度事業計画及び収支予算承認の件
その他法令又は定款で議決を必要とする事項

4) 評議員会の開催

- ・ 開催時期：令和3年6月および令和4年3月
そのほか必要な場合に随時臨時評議員会を開催
- ・ 主な決議事項：令和2年度事業報告及び収支決算の承認
令和4年度事業計画及び収支予算承認の件
その他法令又は定款で議決を必要とする事項

